

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【公開番号】特開 2002-327752 (P2002-327752A)

【公開日】平成 14 年 11 月 15 日 (2002.11.15)

【出願番号】特願 2001-135837 (P2001-135837)

【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 C 33/34

F 1 6 C 13/02

F 1 6 C 19/28

【F I】

F 1 6 C 33/34

F 1 6 C 13/02

F 1 6 C 19/28

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 5 日 (2004.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外輪と、前記外輪と軸との間において転動自在に、2 列以上で配置された複数のころと、を有するバックアップロール用の軸受装置において、軸線方向で外側にある第 1 列のころにおける軸線方向外側の端部のクラウニング量は、前記第 1 列のころより軸線方向で内側にある第 2 列のころにおける、前記端部と同方向側の端部のクラウニング量よりも大きくなっている軸受装置。

【請求項 2】

前記第 1 列のころのクラウニング量は、前記第 2 列のころのクラウニング量に比べて、 $1.25 \sim 2$ 倍である請求項 1 に記載の軸受装置。

【請求項 3】

前記ころの 2 次元投影形状において、前記ころの接触部に接続する第 1 クラウニング部の曲率を R_1 とし、前記第 1 クラウニング部に接続する第 2 クラウニング部の曲率を R_3 とし、前記第 2 クラウニング部と前記ころの端面とを接続する面取り部の曲率を R_2 としたときに、以下の式が成立する請求項 1 又は 2 に記載の軸受装置。

$$R_1 > R_3 > R_2 \quad (1)$$

$$0.005 \times R_1 < R_3 \quad (2)$$

$$0.1 \times R_1 < R_3 \quad (3)$$